

秒でわかる！学生のための

オンライン授業 ハンドブック



はじめに

ごめん、秒は無理

オンライン授業

コンピュータ機器とインターネットの普及で、遠隔地で授業を受けることが容易になってきました。

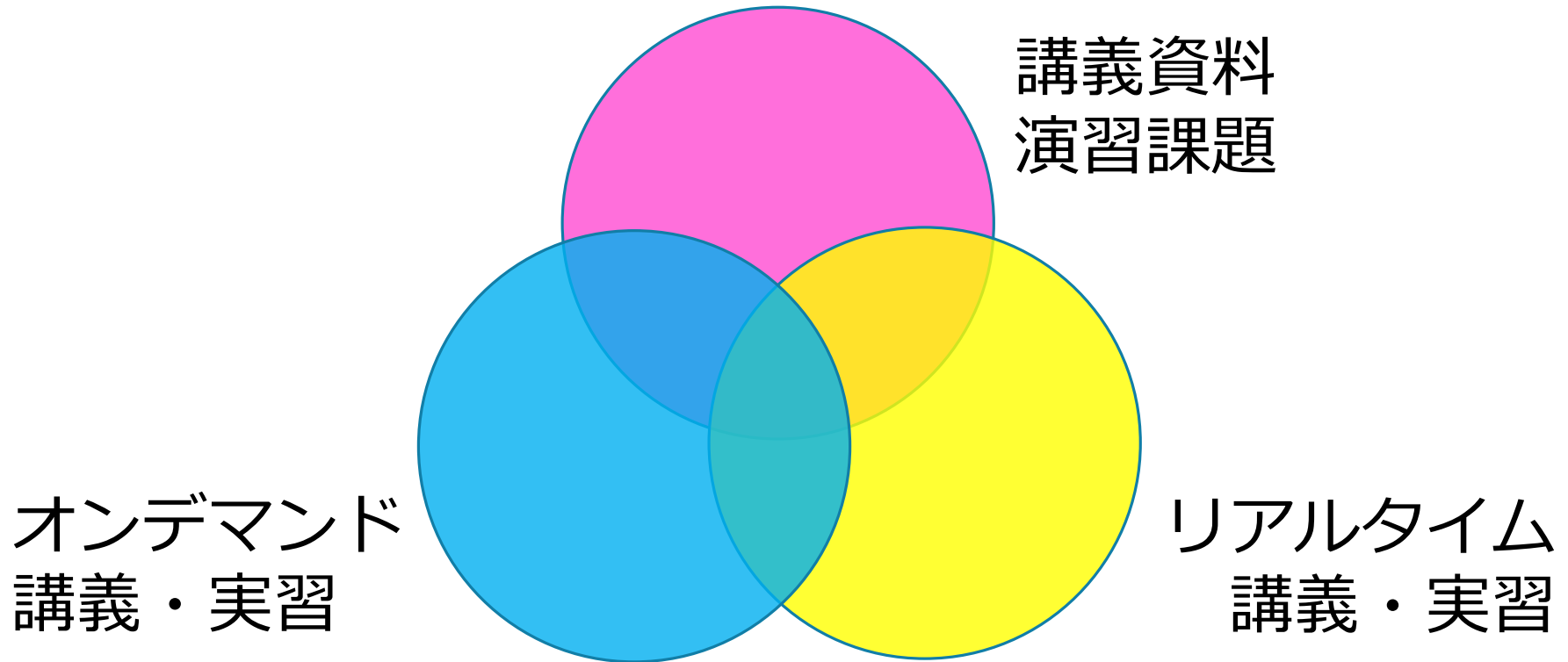


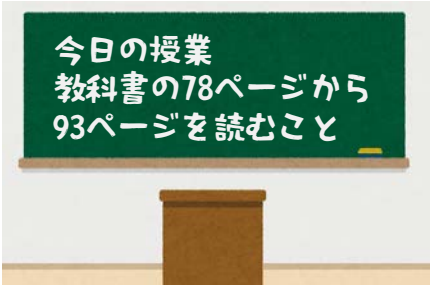
もちろん、どちらが優れているというものではありません。

オンライン授業

オンライン授業の形態

「オンライン授業」と言っても様々な形態があります。
それらを組み合わせて実施することもあります。





今日の授業
教科書の78ページから
93ページを読むこと

講義資料配付型

- 教科書や講義資料、ワークシートを読みながら学習
- 課された宿題やレポートをこなして提出
- 質問もメールやオンラインシステムを通じて

はい、ほぼ自習です。

資料の配布、レポートの提出、質問のためのチャットや掲示板の提供場所として

学習支援システム

(Learning Management System, **LMS**)

を利用することがあります。



オンデマンド型

もうちょっと、授業感を味わいたい…

オン・デマンド (On-demand) = 利用者の要求に応じて提供

- 基本は資料配付型 + 講義の動画を視聴
- 動画は、学習支援システムや動画サイトを通じて配信

つまり、ビデオ・オン・デマンド (VOD) です。

- 他にも例えば、資料をめくりながら音声で講義
- ✓ 動画を視聴しながらの勉強で、一定時間集中を持続しやすい。
- ✓ いつでも、どこでも、何度でも視聴できる。

リアルタイム型



授業のライブ配信ですね。

- オンライン会議サービスやライブ配信サイトを通じて配信
- 映像や音声で双方向コミュニケーションが可能
- 同時にチャットなどのツールを組み合わせることも
- 録画してあとでオンデマンド提供も可能（見逃し配信）

✓ 実際の講義に出席するのと同様の緊張感で集中できる。

…うん、わかってる。リアル授業で寝てる人もいるよね。

✓ 時間割どおりに受講するので、生活のリズム作りに。

学習支援システム (LMS)

遠くない昔、仙台の片隅で...

A NEW SYSTEM

ICTの加速化により、東北大勢力においても授業を円滑に進めるための学習支援システム (Learning Management System) の導入は喫緊の課題であった。そしてついに、資料配布、映像や音声の配信、レポート提出と返却、オンラインテスト、受講生管理、チャット、掲示板等様々な使命を担うInternet School of Tohoku University (ISTU) を誕生させるに至った。一方、宇宙的覇権を握るGoogle帝国は、最強のLMS司令官Classroom卿を東北大へ送り込むのだが...

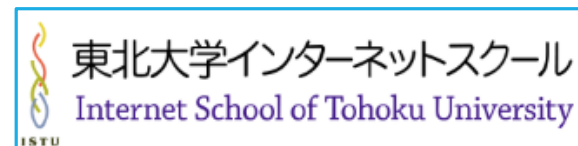
学習支援システム（LMS）

東北大学では、

- ISTU（Internet School of Tohoku University）

<https://istu3g.dc.tohoku.ac.jp/>

東北大IDとパスワードで利用



- Google Classroom

<https://classroom.google.com/>

東北大DCメールアドレスとメールパスワードで利用



の2種類のLMSが導入されています。

※授業により、どちらを使用するのか（しないのか）確認を！

オンライン会議サービス

リアルタイム型オンライン授業では、オンラインで会議をサービスを利用して講義を行います。代表的なものとして、

- Google Meet

<https://meet.google.com/>



東北大DCメールアドレスとメールパスワードで利用

- Zoom ミーティング

<https://zoom.us/>



個人のIDやパスワードは不要

があります。

※授業により、どのようなサービスを使用するのか確認を！

東北大学 オンライン授業ガイド



このように、オンライン授業ではいろいろな形態で、さまざまなシステムやサービスを利用して受講することになります。

そこで、まず**必ず**東北大学オンライン授業ガイドをご覧ください。

<https://olg.cds.tohoku.ac.jp/>

東北大学 オンライン授業ガイド

東北大学 オンライン授業
ガイド



教員向け情報



学生向けの情報

オンライン授業の実施方法や受講のしかた、サービスやツールの使い方が、わかりやすくまとめられています。

理学部・理学研究科

オンライン授業ポータル



実際に授業を受けるためには、それぞれの授業が具体的にどのLMSやサービスを使用するのか知る必要があります。

迷子にならないために、次のサイトを参照してください。

理学部・理学研究科オンライン授業ポータル

<https://sites.google.com/tohoku.ac.jp/sci/>

(東北大DCメールアドレスとメールパスワードで利用)



オンライン授業ポータルでは、**理学部専門教育科目・理学研究科大学院教育科目のオンライン授業実施方法**をまとめています。

シラバスに記載できなかった新しい情報を更新してゆきますので**定期的にご確認ください。**

※全学教育科目については、オンライン版シラバスをご覧ください。

よい授業にするために



どのような形の授業でも、学生と教員がお互いに協力しないとよい授業にはなりません（どや顔）。空間的にも、時間的にも、離れて行うオンライン授業ではなおさらでしょう（ダブルどや顔）。

- 忘れないで、授業だということを
 - ノートを取らずに授業を受けていませんか？
 - わからなかったことは、忘れずに質問しましょう。
オンライン授業ではすぐに質問できないかもしれません。
- みなさんから、授業作りに積極的に参加を
 - オンラインでは教員からの一方的な発信になりがちです。
 - たぶんほとんどの教員はオンライン授業には不慣れなので、コメントをもらえるととっても嬉しいです。

オンラインでは難しいこと

どれだけ情報通信技術（Information and Communication Technology, ICT）が発達しても、人と人が直接顔を合わせることはできません。ノートを貸し借りし、頭を突き合わせてレポートを作成することで、授業の理解を何倍にも深めることができるでしょう。目標を見据えていつもまじめに講義を受けている仲間の姿に、刺激を受けることもあるでしょう。同じ時間を長く共にすることで、生涯にわたる友情を見つけることもあるでしょう。

残念なことに、これからの人生にとって大事な財産を育むチャンスの多くが奪われてしまっています。でも、だからこそ、ICTを使い、人と人のつながりを築いてゆきましょう。きっとオンライン授業は、そのためのツールを学ぶ機会にもなります。パソコンやスマホの先に、あなたと同じような学生さんがたくさんつながっています。「難しい」だけで「できない」わけじゃない。ICTの「C」の力を信じて。

このハンドブックがそんなに役立つわけがない（終）